



# 薫風

銚子市立明神小学校学校便り  
VOL.24 令和7年2月7日

令和6年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」  
『楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう！』

## 第3 保育所との交流会

1月29日（水）の5校時に、第3保育所の年長さんと1年生が、交流会を行いました。低学年昇降口を使って、ペットボトルで作ったボーリングをしたり、園児のために絵本の読み聞かせを行ったり、小学校の学習内容を紙芝居形式で発表したりしました。その後は、温かい言葉を書き入れた、世界に1つだけの自作カードをプレゼントしました。最後の見送りでは、1年生全員で元気良く「明神小校歌」を歌いました。園児と先生方が校門を出るまで心を込めて歌っていました。保育園の先生方も、子供たちの姿に感動し、園児のみなさんも小学校生活への希望を抱く素敵な会となりました。

これらの活動の根底には、子供たちの「相手を笑顔にしたい。」「相手が喜ぶことをしたい。」という願いが込められています。交流会当日だけでなく、相手を思いやる気持ちを原動力として、一生懸命準備を進めてきたことに、大きな価値があると思います。そして、練習を積み重ねて目標を達成した子供たちの姿はとても輝いていました。



「相手のために行動することは、自分自身の成長につながる！」  
このことをこれからも大切にしていってほしいと思います。



## LGBTQ 講演会



2月3日（月）に、認定NPO法人JASHの皆さんをお招きして、「初めて学ぶLGBTQ 自分に輝く人生」と題して講演会を行いました。参加した5、6年生の児童は、真剣な眼差しで講師の方のお話を聴いていました。講演の中で、「自分が自分らしくあろうとすることや、自分が好きだと感じることで、差別や偏見に遭うなんておかしいですね。」「LGBTQ だけじゃなく、人間はみんな一人一人違うんです。」「生き方はいろいろです！『当たり前』『ふつう』『常識』というのは、人によって違うこともあります。」と話されていたことが、とても心に響きました。

また、パネルディスカッションでは、当事者の方の楽しみや生きがい、悩みや困り感にふれることができました。本や動画等で知識を得たり、学んだりすることは容易にできますが、実際に自分の耳で聴いて、体で感じることは、何よりも大切な学びであると思います。

子供たちには、これからも「相手の個性や特性、多様な価値観を尊重し、互いに支え合う」という生き方を大切にしていってほしいと思います。

